

第18期いわき市農業委員会の農地利用最適化推進委員申込状況(令和6年2月29日現在)

●推薦を受けた者の数 23人

※経歴の表記について、年月は元号、順番は時系列に統一。

●応募した者の数 13人

※推薦を受ける(応募をする)区域の表記は、募集地区に統一。

申込区分	No.	推薦を受ける者							推薦をする者									
		氏名		経歴		農業経営の状況		推薦を受ける区域	推薦を受けての抱負など									
		年齢	性別	年月	職歴や役職名等、農業関係の受賞等	経営形態	従事日数(年間)	認定農業者等の認定状況	氏名	氏名	氏名	推薦の理由						
		職業	就農時期	農業委員就任状況		耕作面積	主な生産品目	農業委員への推薦又は応募の有無								年齢	性別	年齢
職業		就農時期	農業委員就任状況		耕作面積	主な生産品目	農業委員への推薦又は応募の有無	職業	職業	職業								
個人推薦	1	渡邊 弘幸		平成28年4月 令和2年3月 令和3年7月	福島県農業振興公社地域マネージャー就任 福島県農業振興公社地域マネージャー退任 第17期農地利用最適化推進委員就任	非農家	—	平2区	農地バンク地域マネージャーとしての4年の経験と、第17期農地利用最適化推進委員の経験を生かし、農地の利用調整、耕作放棄地の解消、新規就農者の誘導と既就農者へのフォローアップを第17期と継続して取り組んでいきたい。	鈴木 理	—	—	渡邊氏は市職員時より現場と農業者を重視し、農業の活性化と農業の継続の出来る取組みに力を注ぎ、地域マネージャーとしても、人・農地プラン策定、協定に大きな実績を残した。既存農業者との人脈も数多く持ち、新規就農者を繋ぐ役回りも果せる知識者でもある。地域計画、地域活動にも持てる力を発起出来る方です。真に最適化推進員に最適任者です。					
		71	男	—	—	—	—	80		男	—	—					—	—
		団体役員		—	第17期農地利用最適化推進委員		—	—		無	農業	—					—	
個人推薦	2	齋藤 元明		昭和53年3月 平成10年4月 平成28年3月 平成30年7月 令和2年1月 令和3年7月 令和4年3月	青年団入団、農協入組、以来4支店長、金融、総務、営農経済各部長を歴任して平成28年2月退職 青年会議所入会 JA福島さくら常務理事就任し令和元年5月退任 第16期農地利用最適化推進委員就任 蛭田川酒井堰水利組合会計就任 第17期農地利用最適化推進委員就任 区長就任	専業	300日間程度	勿来	いわき市の南部地区は小規模農家が多く急激に農業離れが進んでいる地域です。この様な中、畑作・施設園芸はネギ、トマト、なめこくらいしかなく、その他ピーマン、長芋等があります。水田については数名の担い手に集約されつつありますが、この担い手が条件のいい圃場しか請け負わないという問題。また、担い手自身が高齢になり後継者問題に直面しています。前途多難な農業ですが、地域農業者と話し合いを継続し解決できるものから解決していく所存です。	園部 新	青木 弘次	蛭田 祥司	齋藤氏については長年JA職員、役員として業務に従事してきたことにより、地域農業事情に明るい。また、消防団活動や青年団活動、青年会議所活動、区長等の経験もあり、農業者はもとより地域住民との交流も多く、地域からの信頼もあることから、農地利用最適化推進委員に適任であると思慮いたします。					
		69	男	—	—	—	—	64		男	56	男					61	男
		農業		平成31年	第17期農地利用最適化推進委員		70a	米、野菜		非該当	農業	農業					団体職員	
個人推薦	3	大和田 紀幸		令和5年3月	住吉5地区農事組合長就任	兼業	200日間程度	小名浜・常磐	農協職員として培った経験や人脈を活かし、地域の農業振興に貢献したいと考えております。	菅野 嘉晴	—	—	福島さくら農業協同組合泉支店長など、いわき市の農業に貢献し、地域の利用者との交流があり、特に農家の方々の認知度が高いため、推進委員としての活動に期待できます。					
		60	男	—	—	—	—	69		男	—	—					—	—
		農業		昭和59年	—		120a	米		非該当	農業	—					—	
個人推薦	4	遠藤 定幸		昭和49年4月 平成3年3月 平成28年4月 令和元年4月 令和2年4月	いわき市消防団久之浜支団入団 いわき市消防団久之浜支団退団 久之浜町末続地区農事組合長就任 末続地域資源保全会設立 会長就任 末続地区副区長就任	専業	250日間程度	四倉・久之浜・大久	水稲栽培を中心に農業を行っており、この地区の水稲作付面積を少しずつ拡大したいと思い、担い手のない耕作放棄地を借りて、70aの水稲作付けを行っております。地域農業の課題は担い手がいなくなることです。保全会を中心に草刈り等を行って、地域の農業が持続出来るよう貢献して行きたいです。	水野 功	四條 廣重	—	平成15年に就農し自らの耕作の傍ら、地域からの水田耕作を請け負い活動しております。地域活動においては、各種団体の会長として、何事にも真摯に向き合い率先して活動している姿が地域から厚い信頼を得ております。また、当地区は圃場整備未実施地区のため、農地の保全保護活動に多くの課題があり、地域農業の推進に向けて関係機関と連携しながら貢献出来るものと期待できます。					
		74	男	—	—	—	—	81		男	75	男					—	—
		農業		平成15年	—		175a	米		非該当	千軒平溜池 土地改良区	末続区区長					—	
個人推薦	5	根本 重光		平成22年4月 平成26年6月 平成28年2月 平成30年7月 令和3年7月	大久町筒木原区長就任 筒木原地域資源保全会副会長・会計就任 千軒平溜池土地改良区総代就任 第16期農地利用最適化推進委員就任 第17期農地利用最適化推進委員就任	専業	220日間程度	四倉・久之浜・大久	居住する地区は、圃場整備が完了し大部分が担い手に集積されており、遊休農地の発生心配はない。未整備地・山間部においては、耕作放棄地や遊休農地が多く見受けられる。山間部の土地は荒地・山林化し、耕作不適となっている。現在、地域資源保全会の役員をしているため、地主及び各地の地域資源保全会員と情報共有し、担い手の育成、耕作放棄地・遊休農地の解消を図り、農業振興に貢献したい。	水野 功	根本 廣康	—	区長及び地域資源保全会役員を経験され、地域の様々な課題や要望に真摯に向き合い、関係機関と連携を図って対応している姿勢が、地域住民から厚い信頼を得ている。また、当地区は、区画整理された地域と未整備の地域が混在しており、関係機関の助成等が不可欠であります。ここ数年、農業委員も農地利用最適化推進委員も不在であり、被推薦者が就任することによって、地域の農業振興に貢献出来るものと判断されます。					
		76	男	—	—	—	—	81		男	73	男					—	—
		農業		平成2年	第17期農地利用最適化推進委員		65a	米		非該当	千軒平溜池 土地改良区	筒木原区区長					—	
個人推薦	6	岡田 光男		平成28年4月 平成29年4月 平成30年7月 令和元年4月 令和3年7月	大浦地区区長会長就任 四倉町区長副会長就任 狐塚区資源保全会会長就任 大浦小学校評議員就任 JAさくら総代就任 四倉町防犯協会役員就任 第16期農業委員就任 狐塚資源保全会中間管理役員就任 第17期農地利用最適化推進委員就任	兼業	120日間程度	四倉・久之浜・大久	担い手の不足、耕作放棄地の増加などの地域農業の問題解決と農業発展に努力したいと思っております。	高崎 満宏	—	—	地域の中心的存在として、長年活躍しております。地域活動にも積極的で、地域住民から厚い信頼を得ている。農業振興に積極的に、狐塚地区の圃場整備の為、狐塚地区資源保全会中間管理において役員として活躍しております。地域活動を通じて得た信頼関係を活かし、地域の調整役として期待できる存在です。					
		75	男	—	—	—	—	70		男	—	—					—	—
		農業・自営		昭和59年	第17期農地利用最適化推進委員		30a	米、野菜		非該当	狐塚区区長	—					—	
個人推薦	7	蛭田 金治		昭和49年4月 平成30年3月 平成30年7月 令和3年7月 令和7年12月	いわき市役所就職 いわき市役所退職 第16期農地利用最適化推進委員就任 第17期農地利用最適化推進委員就任 民生委員・児童委員就任	自家消費	200日間程度	勿来	これまでは、圃場整備事業など農村における地域の施設整備に従事してきたが、これからは、整備後の農地の利用調整などを通じ、遊休農地とならないような土地調整を進め、優良農地の確保を図り、本市の農業に貢献したい。	蛭田 元起	安島 祐太郎	—	被推薦者は、いわき市職員として農業関係の部署に長く携わり、農業関係者や担い手等との交流が深いことから、将来の農業振興に寄与する活動が期待できます。					
		68	男	—	—	—	—	74		男	69	男					—	—
		農業		平成30年	第17期農地利用最適化推進委員		13a	米		非該当	農業	農業					—	

申込区分	No.	推薦を受ける者							推薦をする者							
		氏名		経歴		農業経営の状況		推薦を受ける区域	推薦を受けての抱負など	氏名		氏名		氏名		推薦の理由
		年齢	性別	年月	職歴や役職名等、農業関係の受賞等	経営形態	従事日数(年間)	認定農業者等の認定状況		年齢	性別	年齢	性別	年齢	性別	
		職業		就農時期	農業委員就任状況	耕作面積	主な生産品目	農業委員への推薦又は応募の有無		年齢	性別	年齢	性別	年齢	性別	
職業		就農時期	農業委員就任状況	耕作面積	主な生産品目	農業委員への推薦又は応募の有無	職業	職業		職業	職業	職業	職業			
個人推薦	8	永瀬 雅則	昭和46年 平成30年	小名浜海陸運送入社 小名浜海陸運送退職	兼業	160日間程度	遠野・田人	農業の取り巻く情勢は深刻であり、耕作放棄地の増加や担い手不足など、農地の荒廃が拡大することが懸念されます。地域単位での話し合いが必要と考えます。	蛭田 壽子	—	—	兼業農家として、休日に農業に従事していたが、退職後に本格的に農業に専念しております。高齢化が進み荒廃する農地の耕作を請負い、地域のまとめ役として信頼されております。農業振興に関心を持ち、地域活動においても様々な団体の役員として活動しております。◎行政区長、防犯協会、交通安全協会、社会福祉協議会など				
		71	男	—	170a	米	非該当		73	女	—		—	—	—	
		農業	平成20年	—	170a	米	無		農業	—	—					
個人推薦	9	草野 一茂	平成31年3月 平成31年4月 令和6年3月	いわき市消防本部退職 いわき市消防本部再任用職員就職 いわき市消防本部再任用職員退職(予定)	兼業	200日間程度	内郷・好間・三和	渡戸地区の土地改良事業の実施当時に会計を担当し、将来の地域農業の在り方を考えておりました。退職を期に、近年の農業を取り巻く課題(担い手不足の解消、耕作放棄地の発生防止など)に取り組んで参りたいと考えております。	草野 利吉	—	—	被推薦者は、これまで240aの水稲栽培を行ってきており、農地の保全に努めております。また、土地改良事業の会計として、積極的に活動し参加して参りました。近年は、渡戸集落組合の役員となり、各種活動にも率先して取り組んでおります。更には、休日には地域の見回りなどを行い、地域住民からも厚い信頼を得ております。地域の調整役として十分に活躍が期待できます。				
		65	男	—	240a	米	非該当		69	男	—		—	—	—	
		消防士(再任用)	昭和52年	—	240a	米	無		渡戸地区区長	—	—					

申込区分	No.	推薦を受ける者							推薦をする者(団体)					
		氏名		経歴		農業経営の状況		推薦を受ける区域	推薦を受けての抱負など	組織の名称	活動の主たる目的		当該推薦をする者の性格を明らかにする事項 ◎農業分野の主な活動 ◎地域における主な活動	推薦の理由
		年齢	性別	年月	職歴や役職名等、農業関係の受賞等	経営形態	従事日数(年間)	認定農業者等の認定状況		代表者職氏名	構成員人数	構成員資格		
		職業		就農時期	農業委員就任状況	耕作面積	主な生産品目	農業委員への推薦又は応募の有無		代表者職氏名	構成員人数	構成員資格		
職業		就農時期	農業委員就任状況	耕作面積	主な生産品目	農業委員への推薦又は応募の有無	代表者職氏名	構成員人数		構成員資格				
団体推薦	1	佐藤 智晴	昭和48年10月 平成元年4月 平成20年2月 平成24年4月 平成28年4月 平成28年4月 令和3年4月 令和3年7月	市政功労彰(善行賞)受賞 小川中学校PTA会長就任 西小川生産森林組合長就任 保護司就任 市行政嘱託員(区長)小川連絡協議会会長就任 市行政嘱託員(区長)連絡協議会副会長就任 第16期農地利用最適化推進委員就任 行政相談員就任 第17期農地利用最適化推進委員就任	専業	250日間程度	内郷・好間・三和	現在、内郷・好間・三和地区の推進委員として活動ししております。任期の3年間は三和地区の推進委員と協力し合い、農地利用の集積、担い手の育成、耕作放棄地の解消に努めて参りました。今後も、地域農業の課題に取り組んで参りたいと思います。また、地域計画の策定にも貢献したいと考えております。	市行政嘱託員 (区長)小川地区 連絡協議会	地区住民の安心・安全 及び相互扶助		◎農業の分野の主な活動 定期的に農業用水路の維持管理・農道の草刈り等に取り組んでいる。 ◎地域における主な活動 小川町区長会をまとめるほか、市立草野新平記念文学館庭園管理協議会会長として運営にあたっている。	地区の農地水(多面的機能)制度の導入の発起人であり、農事組合・森林組合・水利組合の相談役として積極的に活動している。また、地区の耕作放棄地の有効利用や担い手の確保など、地域振興協議会と共に活動しており、今後の活躍に期待が持たます。	
		76	男	—	110a	米、梨	非該当		会長 工藤 隆久	区長34人 (2,138世帯)	小川地区住民			
		農業	昭和45年	第17期農地利用最適化推進委員	110a	米、梨	無							
団体推薦	2	吉田 忠夫	昭和4年1月 昭和57年4月 昭和59年3月 昭和59年4月 平成8年 平成24年7月 平成27年7月 平成30年7月 令和3年7月	いわき市消防団入団 市立鹿島小学校PTA会長就任 いわき市消防団退団 市立小名浜第一中学校PTA会長就任 青年育成市民会議鹿島支部長就任 第14期農業委員就任 第15期農業委員就任 第16期農地利用最適化推進委員就任 第17期農地利用最適化推進委員就任	兼業	60日間程度	小名浜・常磐	農業について、担い手不足や耕作放棄地の増加などの課題を感じており、地域農業の持続的な発展のため、これまでの推進委員の経験を元に、積極的に活動したいと考えております。また、消防団や地区役員等の経験を活かし、地域の農業振興や活性化に貢献したいと考えております。	鹿島町区長会	地区住民の相互扶助		◎農業の分野の主な活動 定期的に農業用水路の清掃管理等に取り組んでいる。 ◎地域における主な活動 地区の催事等を通じ、地区住民との交流を図っている。	若くに就農し、地域の中心的な担い手として長年活躍している。消防団をはじめ、地域活動にも積極的であり、農業者はもとより、地域住民との交流も盛んで、地域の取りまとめ役として、厚い信頼を得ている。担い手の視点から、市の農業振興のため積極的な発言や活動が期待できると共に、地域の調整役としての活躍が期待できる。	
		77	男	—	140a	米、野菜	非該当		会長 高山 義弘	7,400人	鹿島地区住民			
		農業	昭和55年	第17期農地利用最適化推進委員	140a	米、野菜	無							
団体推薦	3	古市 邦男	昭和46年4年 平成23年2月 平成24年2月 平成24年3月 平成27年4月 平成28年2月 平成31年3月 令和3年7月 令和4年12月	大浦農業協同組合(現福島さくら農協)入組 いわき市農業協同組合(金融部審査課長)退職 磐城小川江筋土地改良区監事就任 市農林水産部農業振興課経営改善推進員就任 大森地区資源保全副代表就任 大森自治会会長就任 第17期農地利用最適化推進委員就任 民生委員・児童委員就任	専業	180日間程度	四倉・久之の浜・大久	これまで農協職員や市農林水産部嘱託職員として、本市の農業全般を見る機会がありました。また、農地利用最適化推進委員として3年間活動し、農業・農地等の厳しい現状を一層感じております。このような中で私なりに、農地再生事業や新規就農者等の制度をフル活用し、地域の方々や3年間で4件・約3haの遊休農地を再生することが出来ました。今後は、委員としての更なるスキルアップと農業委員会の活性化を目指して、努めて参りたいと思います。	磐城小川江筋 土地改良区	土地改良施設維持管理 及び土地改良事業		◎農業の分野の主な活動 元磐城小川江筋土地改良区監事・農地利用最適化推進委員 ◎地域における主な活動 元大森区長、民生委員・児童委員	長年農協職員として地域の農家と共に、農業の振興に尽力し、退職後はその経験により市農林水産部嘱託職員として働く傍ら、土地改良区の監事として、積極的に改良区の運営に関わって来た。令和3年より農地利用最適化推進委員として活動しており、地元からの信頼も厚い。今後の地域の農業には、人口減少・高齢化などの様々な問題があり、耕作放棄地も増加する傾向のなか、今までの実績を活かし活躍することが期待できる。	
		73	男	—	120a	米	非該当		理事長 中根 進	1,747人	定款に定める 区域内受益者			
		農業	昭和49年	第17期農地利用最適化推進委員	120a	米	有							
団体推薦	4	松本 正美	平成28年4月 平成30年7月 令和3年7月	水田地区農事組合長 第16期農地利用最適化推進委員就任 第17期農地利用最適化推進委員就任	兼業	180日間程度	内郷・好間・三和	担い手不足で耕作放棄地が増加する現状に、将来の農業への課題を感じております。微力ながらも、その解消に貢献したいと考えております。	三和町区長会	三和町の良好な地域社会の 維持及び形成		◎農業の分野の主な活動 イノシシ被害など地域が抱える農業課題について、解決のための検討及び要望活動を実施している。 ◎地域における主な活動 道路改良など地域が抱える課題について、解決のための検討及び要望活動を実施している。	これまでの営農実績に加え、6年間の農地利用最適化推進委員としての活動を通じ、蓄積した識見をもって、更なる地域の農業振興へ寄与することが期待出来る。	
		72	男	—	61a	豆類、養鶏	非該当		会長 永山 肇一	11人	三和町 各行政区区長			
		農業	平成3年	第17期農地利用最適化推進委員	61a	豆類、養鶏	無							
団体推薦	5	阿部 克典	昭和55年4月 平成23年3月 平成27年4月 平成30年7月 令和元年4月 令和3年7月 令和4年12月 令和5年1月	いわき市消防団第六支団第4分団入団 いわき市消防団第六支団第4分団退団 下永井公民館運営委員会委員長就任 農事組合法人ファーム永井就職 下永井環境保全会代表就任 第17期農地利用最適化推進委員就任 農事組合法人ファーム永井退職 有限会社中央牧場就職	兼業	200日間程度	内郷・好間・三和	31年間農関係の仕事に従事し、定年後は地域の農業(水稲・大豆・そば)の生産に興味もあり、少しでも農業に貢献したいと地元の農事組合法人に就職し、担い手として活動して参りました。農地利用最適化推進委員の活動を通じて、地域の遊休農地の現状について知り、今後の地域農業について一緒に考えて行きたいと思っております。また、消防団にも再入団し地域活動にも参加しており、微力ながら地域振興に役立ちたいと考えております。	三和町区長会	三和町の良好な地域社会の 維持及び形成		◎農業の分野の主な活動 イノシシ被害など地域が抱える農業課題について、解決のための検討及び要望活動を実施している。 ◎地域における主な活動 道路改良など地域が抱える課題について、解決のための検討及び要望活動を実施している。	地域の担い手として農業法人に参加し積極的に活動してきた経験があり、地域活動を通じて得た信頼も評価できる。地域の農業振興に貢献できるものと期待します。	
		67	男	—	200a	米、大豆	非該当		会長 永山 肇一	11人	三和町 各行政区区長			
		酪農	平成30年	第17期農地利用最適化推進委員	200a	米、大豆	無							
団体推薦	6	木村 茂	昭和53年 平成15年 平成24年 平成25年 平成24年7月 平成30年7月 令和2年 令和3年7月	いわき市消防団退団 いわき市農業協同組合退職 中神谷西区副区長就任 中神谷西区副区長退任 第14期農業委員就任 第16期農地利用最適化推進委員就任 神谷第二地区ほ場整備組合役員(庶務)就任 磐城小川江筋土地改良区総代、水路看守員 第17期農地利用最適化推進委員就任	専業	300日間程度	平1区	これまで農業委員、農地利用最適化推進委員として活動し地域の営農状況を見て来ました。高齢化や担い手不足が進み、耕作放棄地や農地の有効利用がされていない現状があり、今後更に農業を取り巻く環境が厳しさを増すと感じております。地元では、ほ場整備組合役員として、農地の集積・集約の計画にも関わり、持続的な営農を可能にするよう努めています。今後は、ほ場整備実施区域外でも、地域計画の策定や多面的支払交付金、農地中間管理機構関連事業の活用により、農地の荒廃を防ぐことが重要となってくると考えます。これらの課題に、農地利用最適化推進委員が果たす役割は重要であり、その一翼を担って行きたいと思っております。	磐城小川江筋 土地改良区	土地改良施設維持管理 及び土地改良事業		◎農業の分野の主な活動 磐城小川江筋土地改良区総代、水路看守員、神谷第二地区ほ場整備組合役員(庶務)、農地利用最適化推進委員、元農業委員 ◎地域における主な活動 元中神谷西区役員(副区長、土木委員)、元消防団班長	平成26年度より農業委員として神谷地区の農事組合と協力し、ほ場整備事業の推進に取り組み、地区のほ場整備事業の実施に大いに貢献した。ほ場整備事業採択後は、神谷第二地区ほ場整備組合役員として事業計画に関わり、工事実施に向けて地元の意見をまとめている。平成28年からは、磐城小川江筋土地改良区総代として改良区の運営に関わっている。また、水路看守員として小川江筋の維持管理、災害や緊急時の対応、更には湯水字の適正配水など農業用水の安定供給に努め、地域の営農に大きく貢献している。自身も農作業受託を行っており、地区内の営農状況を熟知しており委員として最適である。	
		77	男	—	420a	米、ピーマン	非該当		理事長 中根 進	1,747人	定款に定める 区域内受益者			
		農業	昭和40年	第17期農地利用最適化推進委員	420a	米、ピーマン	無							

申込区分	No.	推薦を受ける者							推薦をする者(団体)					
		氏名		経歴		農業経営の状況		推薦を受ける区域	推薦を受けての抱負など	組織の名称	活動の主たる目的		当該推薦をする者の性格を明らかにする事項 ◎農業分野の主な活動 ◎地域における主な活動	推薦の理由
		年齢	性別	年月	職歴や役職名等、農業関係の受賞等	経営形態	従事日数(年間)	認定農業者等の認定状況			代表者職氏名	構成員人数		
		職業		就農時期	農業委員就任状況		耕作面積	主な生産品目	農業委員への推薦又は応募の有無	会長 秋山 邦夫	308人	旧勿来地区の農業従事者		
団体推薦	7	クシダ コウヘイ 榑田 耕平	71	男	平成27年7月 平成28年 平成28年4月 平成29年4月 平成30年7月 令和2年5月 令和5年10月 令和3年7月	勿来地区民生委員・児童委員 勿来土地改良区理事就任 勿来行政嘱託員(沼部町1区)就任 稲穂会長(稲穂研究会)就任 環境保全の一環として森林整備事業を実施 第16期農地利用最適化推進委員就任 環境保全型農業「農Limit」入会 勿来地区土地改良区理事長就任 第17期農地利用最適化推進委員就任	専業	250日間程度	勿来	農地利用最適化推進委員として、地域計画の策定を積極的に推進して参ります。地域活動・地域貢献の実績については、多面的機能を活用したU字溝設置の継続、農道整備、用水路の維持管理を行いながら、地域のために貢献したいと考えます。	勿来地区 土地改良区	地区内の農業環境の改善	◎農業の分野の主な活動 改良区で水門を担当し、農業用水路の点検を定期的に行っている。 ◎地域における主な活動 行政嘱託員(区長)を経験し、平成27年から民生委員・児童委員として活躍。	昭和50年に就農し、地域農業の中核的存在である。行政嘱託員(区長)、民生委員・児童委員として、地域行政に貢献している。本市の農業振興に寄与する発言・行動が期待でき、住民の信頼を受け地域の調整役として最適である。
		農業	昭和50年	第17期農地利用最適化推進委員		190a	米	非該当 無	会長 秋山 邦夫	308人	旧勿来地区の農業従事者			
		75	男	平成30年7月 平成31年4月 平成31年4月 令和3年7月	いわき市農業協同組合退職 市青少年育成市民会議田人地区推進協議会会長就任 第16期農地利用最適化推進委員就任 市社会福祉協議会田人地区協議会会長就任 田人地区老人クラブ連合会会長就任 第17期農地利用最適化推進委員就任	自家消費	50日間程度	遠野・田人	田人地区は高齢化と過疎化が進行し、農地を維持するのが非常に厳しい現状です。農地利用最適化推進委員としての役割を自覚し、農地が農地として活用され、遊休農地や耕作放棄地とならないよう、地域の農家と十分に協議しながら、農業振興の為全力を尽くしたいと思います。	田人地区 区長会	田人地区内の共通する諸問題の調査研究及び陳情・請願を行い、地域住民の福祉増進に寄与すること	◎農業の分野の主な活動 昭和44年に田人農業協同組合に就職。平成21年に退職するまで、地域農業を支えると共に、指導者として活動してきた。 ◎地域における主な活動 区長会長、青少年育成市民会議田人地区協議会会長ほか	長年農協職員として勤務していたことから、農業に係る識見を有し、地域の農業に密に接してきており、地域の実情や経過等を熟知している。また、区長OBであり、現在は田人地区の社会福祉協議会や老人クラブ等の長として活動していることから、地域の調整役としても適任であり、農地利用最適化推進委員として、今後も職責を果たすことが期待出来る。	
農業	平成15年	第17期農地利用最適化推進委員		20a	馬鈴薯ほか	非該当 無	会長 宗田 公司	8人	田人地区内の区長					
団体推薦	9	ミドリカワトシユス 緑川 利康	74	男	昭和43年4月 昭和53年4月 平成15年4月 平成27年4月 令和2年7月 令和2年10月 令和3年7月 令和5年4月	小名浜製錬入社(令和2年6月退職) 田人地区消防団入団(約26年) 交通安全協会田人支部庶務(現在も継続) 上黒田区庶務就任 菱浜興業株式会社入社(令和5年3月退社) マテリアルエコリスイン株式会社入社 第17期農地利用最適化推進委員就任 上黒田区区長就任	兼業	150日間程度	遠野・田人	農業関係は、現在継続して水稲耕作の受託を行っております。高齢化に伴い水田の管理が困難な農家が増えております。このからの農業をどうするか考える為にも、農地利用最適化推進委員を続けたいと思っております。	田人地区 区長会	田人地区内の共通する諸問題の調査研究及び陳情・請願を行い、地域住民の福祉増進に寄与すること	◎農業の分野の主な活動 水稲の兼業農家であり、田人の特産物として自然薯の生産にも参加。戸ノ内地区の農業用水路の管理も担う。 ◎地域における主な活動 消防団員、安全協会田人支部役員、上黒田地区区長など。	真面目に地域の役職を長年務め、地域住民からの信頼は厚い。地域の実情にも明るく、令和5年度からは上黒田区区長として、住民の声尾をしっかり行政(支所)に繋いでいる。区長となつてからは、地区の長年の懸案課題にも対応しており、地域の調整役として期待できる。農地利用最適化推進委員を一期経験したことで、その経験を活かし、更なる飛躍を期待できる。
		農業	昭和51年	第17期農地利用最適化推進委員		60a	米	非該当 無	会長 宗田 公司	8人	田人地区内の区長			
		75	男	平成25年4月 平成27年1月 平成30年7月 令和元年4月 令和元年6月 令和3年7月 令和5年4月 令和6年4月	細谷区行政嘱託員区長就任(～平成27年3月) 四倉町細谷地域振興協議会事務局入局(～現在) 第16期農地利用最適化推進委員就任 県農業共済組合いわき支部共済会評価委員就任(～現在) 四倉町防犯協会副会長就任(～現在) 第17期農地利用最適化推進委員就任 細谷アグリサポート(多面的支払)庶務・会計就任(～現在) 大浦未来研事務局入局(～現在)	兼業	120日間程度	四倉・久之浜・大久	◎今後3年間の取り組み ①地域計画の作成(C.BグループをAグループに上げる。) ②大森地区と細谷地区の用水路問題の解決 ③細谷地区の30haの畑の利用(例えば、温暖な地域としての園芸メダ団地構想) ④仁井田川水系との取り組み(遊水池、水門設置、田んぼダム、環境型農業の取組等) ※雑問が山積みだが一つずつ解決して行くしかない。	地緑団休法人 四倉町細谷区	良好な地域社会の維持と形成	◎農業の分野の主な活動 用排水路の維持管理、農道・市道の維持管理を行う。 ◎地域における主な活動 地区催事等を通じ、地域住民の親睦を図る。	①細谷区法人化の取り組み 緑地団体法人としての財産の保護に努めて来た。 ②街灯LED化の取り組み 市政モニターとして市に支援を要請し早期設置に取り組んだ。 ③大浦地区防犯活動の取り組み 月1回、青色防犯パトロールを実施。 ④耕作放棄地再生の取り組み ⑤畑の委託事業の取り組み 非農家に委託して農業に関心を持ってもらう。 ⑥用水路問題の取り組み 農繁期の用水路問題に取り組む。 ※様々な農業問題の調整役として期待が持てる存在である。	
農業	昭和43年	第17期農地利用最適化推進委員		120a	米、野菜	非該当 無	区長 愛川 利司	423人	細谷区住民					
団体推薦	11	トモタカ マサハル 富岡 正治	73	男	平成3年4月 平成24年4月 平成25年11月 平成元年8月 令和元年4月 令和3年7月 令和5年9月	草野小学校学校田の指導(～現在) 草野地区体育協会会長就任 民生委員・児童委員、平第10方部副会長就任(3期9年) ネギ部会平支部(草野・神谷・夏井・高久)支部長就任 六十枚区長就任 第17期農地利用最適化推進委員就任 JA福島さくらいわきネギ部会副会長就任	専業	250日間程度	四倉・久之浜・大久	17期推進委員として活動しています。農地の荒廃が進む中なか基盤整備事業が進んでいます。草野地区においても高齢化が深刻で、全部の部落がこの政策に前向きになっております。賛同を得る為にも行政との橋渡しになればと思っております。「いわきねぎ」の産地指定がされました。種まきから製品に至るまで、ほ場で育成するには時間を要します。その間、雑草・大雨・大風・病気と戦いしなければなりません。こうした状況を周知しながら、増産に寄与する指導をして参りたいと思っております。また、学校田を通じ、子供たちに米作りと主食のあり方について学んで欲しい。	JA福島さくら いわきねぎ部会	いわきねぎの生産技術の向上及び流通の合理化を図り、ねぎ生産を安定的産業として振興させ、ねぎ生産者の経済安定に寄与する	◎農業の分野の主な活動 ネギ生産を通じ、いわき市の農業振興に寄与している。 ◎地域における主な活動 地区の催事等を通じ、地域住民との交流を定期的に実施している。	地域農業の中核的な担い手として長年活躍しており、特にJA福島さくらいわき部会においては、率先してGAP認証を取得し、安全・安心なねぎの生産に取り組んでいる。また、昨年9月に部会長に就任し、いわきねぎの振興、ブランド産地の維持のために、県・市・市場・JA等関係機関と連携を図り、部会のリーダーとして、積極的な活動を行っている。
		農業	平成15年	第17期農地利用最適化推進委員		200a	ネギ、米	非該当 無	夏井富農 経済センター センター長 坂本 賢司	112人	JA福島さくら 組合員			
		72	男	平成23年3月 平成23年6月 平成24年4月 平成25年12月 平成26年4月 令和元年4月	いわき市役所退職 福島県行政書士会入会 福島県行政書士会いわき支部理事就任(任期8年) 民生委員・児童委員就任(石森地区・任期6年) 福島県行政書士会本会監事就任(任期6年) 福島県行政書士会本会理事兼総務部副部長就任	非農家	—	平2区	谷川瀬地区に実家があり兼業農家であったため、水稲や畑作を経験しており、元公務員の経験及び行政書士として現在農業関係業務に従事しているが、将来の農家の経営に新たな方向性を見出すことが出来なくては、農業に明るい将来はないと危惧しております。高齢化対策、農耕地の換地・耕地整理など効率的なインフラの再構築、地域別農産物生産の特化、生産物の地産地消の推進、他都市への販売ルートの確保、そして何より、経営の効率化かつ人材の育成、年間を耕作できる品種・施設整備の改良、個人事業のみに頼らない安定した法人化の推進、また、将来の他業種同等の年金保障など、多くの課題を抱えているのが現状です。過去の経験を活かし徹力ながら協力したく考えております。私自身もバラの育種をしており、品種の改良を試行しております。	福島県 行政書士会 いわき支部	行政書士法及び福島県行政書士会々々則により構成される組織であり、資格に関する事務、連絡調整、研修等の事業を行う。	◎農業の分野の主な活動 生家が元農家で現在花卉栽培育苗種に取り組んでいる。 ◎地域における主な活動 農地関係の業務に精通し、相続・経営相談等に取り組んでいる。	いわき市役所を退職後、行政書士としてその幅広い行政経験から、支部事業の役員として会の発展に貢献されました。濃厚で信頼厚く、会員からも信頼されております。実務として、農地法、農振法、行政手続きを含む農地制度に深い知見があります。何よりも今後の地域農業における農地の集積・集約の発展や農業生産物への課題などに対し、経験と先見の両方から取り組めるため、農地利用最適化推進委員へ強く推薦いたします。	
行政書士	—	—		—	—	非該当 無	支部長 安藤 強	122人 (法人会員 4名含む)	福島県行政書士会入会者で いわき市に事務所を設置した					
団体推薦	13	ヤマノ ヤスヒロ 矢内 安宏	65	男	平成27年4月 平成30年3月 平成30年7月 令和2年4月 令和3年3月 令和3年7月 令和5年5月 令和6年2月	第4期中山間地域直接支払制度・多面的機能支払交付金制度事務局就任 JA福島さくらりんどう部会会計就任 いわき市森林組合理事就任 第16期農地利用最適化推進委員就任 第5期中山間地域等直接支払制度・多面的機能支払交付金制度事務局就任 いわき市森林組合理事就任 いわきりんどう生産部会会長就任 第17期農地利用最適化推進委員就任 がんばっぺおけうり(地域活動組織)庶務就任 いわきりんどう生産部会会長就任	兼業	60日間程度	小川・川前	推進委員として6年間活動し、現状からの将来像については、深刻であると予想されます。一人でも多くの新規就農者の確保と未永く農業を維持継続できる環境作りが、今後の課題であると思います。上橋売地区の地域計画をまとめることが出来ました。5年越しの成果です。今後、下橋売地区の地域計画認定の実現と、中山間地域等直接支払制度で一度断念した地域の復活と、現制度を活用している集落が継続できるためのサポートの一翼を担いたいと思っております。中山間地域の魅力を再発見し、保安全管理地を含むべき農地の維持管理と、その農地を利用した新たな作物の開発を行いたいと思っております。また、いわき市森林組合理事に就任し、林業後継者の育成確保と振興も農業と同じ今後の課題であり、農林業をひとつのグループとして振興できるよう、将来を見据えた活動をしたいと考えております。	川前町区長会	良好な地域社会の維持及び形成	◎農業の分野の主な活動 県の振興作物「りんどう」を率先栽培し、普及活動を行う。中山間地域等直接支払制度の普及・実施。 ◎地域における主な活動 地区のボランティア作業に積極的に参加するとともに、地区内の諸課題解決の調整を実施。	第16・17期推進委員として、地区内の農地利用状況や利用意向調査を実施すると共に、農業者の相談等をこまめに行い、地区内の農地利用状況や利用意向調査を実施すると共に、農業者の相談等をこまめに行い、地域の農家からの信頼も厚い。中山間地域における新規作物の振興及び農家所得の向上を図るため、県で普及しているりんどうの生産振興に大きく寄与するとともに、遊休農地の解消に努めるため、中山間地域等直接支払制度における集落内の協定締結に尽力するなど、調整力と行動力が非常に高い。また、消防団や地区青年会で活躍した経過もあり、現在も各種活動に積極的に参加しており、農業者のみならず地域住民の信頼は非常に厚いことから、推進委員として適任である。
		会社員	昭和53年	第17期農地利用最適化推進委員		160a	米、花き	該当 無	会長 根本 秀一	16人	川前地区 各区長			
		74	男	昭和45年4月 昭和47年9月 平成23年2月 平成23年9月 平成25年9月 平成27年3月 平成30年7月 令和2年4月 令和3年7月	いわき市消防団入団 株式会社東日本計算センター入社 いわき市農林業(とつくり芋部会)で団体受賞 JAいわき市ねぎ部会副会長、草野支部長(4年間) JAいわき市赤沼とつくり芋生産部会長(6年間) 東北農政局長賞(とつくり芋部会)で団体受賞 第16期農業委員 草野地区農事組合副会長、赤沼地区農事組合長 第17期農業委員	専業	300日間程度	平1区	◎農業従事者の高齢化と後継者不足による耕作放棄地の増大があり、農地の集約化と基盤整備事業の推進に取り組んで行きたい。 ◎赤沼地区で経験した・農地プラン計画策定の知識を、未策定地区に助言し推進して行きたい。 ◎農業委員を経験して感じたことは、農家の後継者が農地に対する知識と認識が不足していることです。 推進委員として各種集会等を通じて、農地保全の重要性を訴えて行きたいと思っております。	草野地区 農事組合 協議会	JAと草野地区農事組合に関する調整	◎農業の分野の主な活動 草野地区農事組合協議会長 ◎地域における主な活動 用水路の土砂撤去、草刈り、河川敷きの草刈りなど。	◎農業に従事し、米、ねぎ、とつくり芋等の栽培を行い、地域の中核的な存在として長年活躍しております。 ◎農業委員をはじめ、各種団体のまとめ役として厚い信頼を得ており、その功績は顕著なものがあります。 ◎中核的な担い手の視点から、市の農業振興に寄与する積極的な活動が出来ると共に、信頼関係を活かして地域の調整役として大いに活躍が期待出来ます。 ◎地域で課題となっている人・農地プランの知識を未策定地区に伝授して頂きたい。	
農業	昭和45年	第17期農業委員		180a	米、ねぎ、とつくり芋	非該当 無	会長 沼田 正	507人	JA 農事組合員					

申込区分	No.	応募をする者										
		氏名		経歴		農業経営の状況		応募をする区域		応募の理由		
		年齢	性別	年月	職歴や役職名等、農業関係の受賞等	経営形態	従事日数(年間)	認定農業者等の認定状況				
		職業	就農時期	農業委員就任状況	耕作面積	主な生産品目	農業委員への推薦又は応募の有無					
応募	1	タナベ 武喜	タケヨシ	昭和50年5月 令和5年12月	設計事務所開業(一級建築士・土地家屋調査士) 設計事務所(12月28日業務廃止)	非農家	—	—	—		—	一級建築士及び土地家屋調査士として昭和50年より令和5年12月まで公共建築物と住宅建築設計監理と不動産の表題業務及び宅地開発等、社会貢献に活動してまいりました。今までの経験を基に新しい未来に向けての農業振興のため、農地利用最適化推進委員として参画したたく申込致しました
		77	男	—	—	—	—	—	—	—		
		一級建築士 土地家屋調査士	—	—	—	—	—	—	—	—		
応募	2	シライシ 保基	ササキ	平成30年4月 令和2年2月 令和2年4月 令和3年7月 令和4年4月	下小川区区长就任 磐城小川江筋土地改良区総代就任 澤村神社 総代就任 第17期農地利用最適化推進委員就任 下小川悠々クラブ(老人クラブ)副会長就任	専業	210日間程度	—	—	—	兼業農家として50年米づくりと会社をやってきました。退職まじかに地区区長を受けたまわり、地域活動を積極的にを行い、地区のととりまとめや若い人達との交流を深めてまいりました。区長退任時に、農業委員農地利用最適化推進委員に推薦され就任いたしました。就任後あらためて地区の農業農地の問題点を調べてみますと、遊休農地の増加、農業従事者の高齢化、他地区からの大規模営農農家の進出と問題点が浮きぼりになってきました。しかも、地区住民の農業農地に対する無感心さが目に見えるようになってきました。地区集会のたびに農業農地をどうすればよいのか、問題を提起し地区農業のあり方について担い手や農業従事者と話をしてまいりました。このたび農業委員会より守るべき農地の地域計画作成の案案作成の話をいただき、住民集会の開催や地域会議で問題点の話し合いを行ってまいりました。結果農業委員会の方々の協力を得ましてアンケート調査を実施することができ、素案づくりまで進むことが出来ました。今後は、目標地図作成に向けて地域計画の話し合いを行い課題や方向性を共有し目的を明確化し目標地図作成の地区のまとめ役としてがんばって行きたいと考え農地利用最適化推進委員に立候補しました。	
		72	男	—	—	—	—	—	—	—		—
		農業	昭和51年	第17期農地利用最適化推進委員	140a	米	—	—	—	—		
応募	3	サイトウ 憲雄	ノリノ	昭和50年4月 平成12年3月 平成29年4月 平成30年3月	いわき市消防団入団 いわき市消防団退団 いわき市泉町泉区区长就任 いわき市泉町泉区区长退任	専業	300日間程度	—	—	—	父は専業農家として農業に携わっていましたが若くして病いに倒れたので、私が若くして兼業農家として農業に従事してきた。地域活動にも積極的に参加し、特に消防団活動では、地域住民との交流を積極的に行いました。又自治活動でも区長として地域の取りまとめ役として活動しました。定年退職後は農業の規模拡大に努め米作りにも励んでおりますが、現状農業を取り巻く状況は大変厳しくなっております。特に耕作放棄地が増える一方で、将来を心配しておりますので、なんとかして地域の方々と力を合わせて少しでも耕作放棄地をなくし環境保全に務めたい。又、いわき市の農業振興に寄与する積極的な発言や活動を行い地域の調整役として活躍したい。	
		70	男	—	—	—	—	—	—	—		—
		農業	昭和55年	—	600a	米	—	—	—	—		
応募	4	サント 豪士	ゴウシ	平成28年3月 平成30年9月 令和元年6月 令和2年8月 令和2年9月 令和3年1月 令和3年2月	GSautoJAPAN開業 いわき若者応援代表就任、以降多数地域活動を行う 日本農業経済学会所属 いわき農業マネジメント合同会社設立 磐城農業高等学校との連携事業、磐城ビジネススクエア設立 産官学連携で石けん商品を作り、市長に表敬訪問を行う 学びと社会の連携触診事業/教育機関向け協力事業者	自家消費	80日程度	—	—	—	今まで、農地利用最適化推進委員を勤めて、自分にとって大切な取り組みと感じた為です。自身でも、磐城ビジネススクエア(磐城農業高等学校との連携組織)等農業に係る活動を行っており、新規就農者の確保や次世代育成に尽力しております。そういった自身の活動を通じる事でも、農業に係る問題課題の解決に繋がっていくと信じており、農地利用最適化推進委員の仕事は非常に有益と考えております。農地利用最適化推進委員の仕事を行いながら、磐城ビジネススクエアの取り組みを継続したいと考え、この度の応募させて頂きました。宜しくお願い致します。	
		33	男	令和2年9月～	市の農業ロゴと、農業高校の規格外果物を使用した企画の、農業振興及び食品ロス削減が、福島民報、福島民友、いわき民報、財界福島等で表彰され、以降も産官学連携の新規事業や新規就農者支援に取り組む	—	—	—	—	—		—
		自営業	—	第17期農地利用最適化推進委員	26a	ハーブ、野菜	—	—	—	—		
応募	5	サトウ 純一	ジュンイチ	昭和63年4月 平成25年11月 平成31年4月	いわき市消防団入団 いわき市環境審議会委員就任 いわき市行政嘱託員・東田区区长就任	非農家	—	—	—	—	いわき市消防団、青年団を始め、東田地区の保健委員(2期)、副区長(2期)、区長、顧問等を通じて、地域活動に積極的に参加しております。東田地区の社会福祉法人(敬和会・保育事業)等の役員もしております。日頃から、地区住民との交流を大切にしております。今後は、地域活動を通じて得た信頼関係を活かし、地域の為に貢献したいと存じます。行政書士や宅地建物取引士の資格を取得しており実務経験もあります。現在、生業として宅地建物取引士資格を活用しておりませんので、利益相反行為には該当しないものと思っております。複雑な農地等の法令に対応して農地利用の最適化の推進に努めて参りたいと存じます。農地法は家族(世帯)主義で、家族でのチームプレーを大事にいたします。私の家族も民生委員・児童委員(現職2期目)や人権擁護委員(前職)をしております。家族一丸となり、更に地域との絆を深め、目的達成に近づきたいと存じます。	
		70	男	—	—	—	—	—	—	—		—
		行政書士	—	—	—	—	—	—	—	—		
応募	6	カンノ 嘉晴	ヨシハル	令和3年3月 平成28年4月 平成30年7月 令和3年7月 令和3年9月	長孫町区長就任 いわき市社会福祉協議会常務支部幹事就任 第16期農地利用最適化推進委員就任 第17期農地利用最適化推進委員就任 いわき市磐崎財産区管理者就任	専業	360日間程度	—	—	—	長孫町区長を4期務め、地域の取りまとめ役として活動しております。鮫川土地改良区の総代として、地区の農業用水路を管理しております。常盤地区の福祉活動も行い、農業以外にも活動しております。いわき市農地利用最適化推進委員として、本市の農業振興や遊休農地の解消に、日夜活動しており、今後も地域の調整役として活躍したいと考えております。	
		69	男	—	—	—	—	—	—	—		—
		農業	昭和50年	第17期農地利用最適化推進委員	67a	米、トマト	—	—	—	—		
応募	7	シノブ 正秋	マサキ	平成27年4月 平成30年7月 令和3年7月	下高久区長就任(平成31年3月退任) 第16期農地利用最適化推進委員就任 第17期農地利用最適化推進委員就任	専業	280日間程度	—	—	—	現在、第17期推進委員として活動しており、平2区の地域計画策定に携わっており、引き続き、推進委員として任命を受け、地域計画策定に微力ながら貢献したいと思っております。会社勤務を59歳で退職後、本格的に営農し、震災後の津波によるほ場整備や区長等を経験し、これを少子高齢化・遊休農地問題の解消に活かして、地域振興を農業を通じて実現させたい。	
		71	男	—	—	—	—	—	—	—		—
		農業	平成23年	第17期農地利用最適化推進委員	900a	米、ねぎ	—	—	—	—		

申込区分	No.	応募をする者									
		氏名		経歴		農業経営の状況		応募をする区域		応募の理由	
		年齢	性別	年月	職歴や役職名等、農業関係の受賞等	経営形態	従事日数(年間)	認定農業者等の認定状況	農業委員への推薦又は応募の有無		
		職業		就業時期	農業委員就任状況	耕作面積	主な生産品目				
応募	8	サント ススム 三戸 進		平成24年7月 平成30年7月 令和3年7月	植田地区防犯協会会長就任 保護司就任(いわき南地区保護司会) 第16期農地利用最適化推進委員就任 第17期農地利用最適化推進委員就任	自家消費	120日間程度	勿来			推進委員として3年間活動してきたなかで、担当地区の農地の現状を隔々まで歩いた結果、耕作放棄地が年々増加し、まさに今の日本の縮図をみたような気がした。これからも、農地の現状を見守り、耕作放棄地内の農地法違反、不法投棄等がないように活動しなければならない。第17期から各推進委員に貸付けられたタブレットは、推進委員活動に大いに役立ったと思っている。今までに、不明な土地の筆界判断に悩んでいた場所が確認でき、作業の時間短縮に繋がった。土地所有者の世代が代わり、一面耕作放棄地となっている場所などは、特に自分の土地の確認すら出来ないような所が多くなり、地元の人からの「自分の土地の場所を確認したい」との依頼にも対応出来た。
		69	男			51.9a	米	非該当			
		自営業		平成14年	第17期農地利用最適化推進委員				無		
応募	9	オノイゴワ オズヒロ 大井川 和洋		平成26年4月 平成28年4月 平成30年4月 令和元年4月	小学校PTA役員就任 小学校PTA会長就任 中学校PTA役員就任 中学校PTA会長就任(2年間)	兼業	240日間程度	勿来	農地の利用状況調査、利用意向の確認を行い農地の集積・集約化を提案し、作業の効率化を図る。特に遊休農地の解消に努め、隣接する農地の害虫、雑草、鳥獣等の被害の軽減に繋がる所有者の農地管理、担い手の確保を行う。また、山間部に隣接した農地は、イノシシ等の行動範囲が広がり、被害が拡大しつつあります。里山の整備が必要だと思います。林務課等と意見交換を行い、環境の改善に繋げて行きたいと思っています。PTA活動に携わり、学校・地域・行政等の繋がりを通じ、問題解決に努めることが出来ました。幼少期から農業に携わり、これまで経験したことを活かし、新規参入の促進、農業者の相談業務等、窓口として市の農業振興に寄与する積極的な発言や行動を行い、地域活動を通じて得た信頼関係を活かし、地域の調整役として活躍したい。		
		53	男			111a	米	非該当			
		自営業		平成元年	—					無	
応募	10	ユシタ ヒサユキ 湯下 久之		平成20年5月 平成25年4月	株式会社サン・ベスト代表取締役就任 ICSN公益財団法人いわき産学官ネットワーク協会入会(会員)	兼業	300日間程度	小川・川前	世界各地において紛争は絶えることなく、気候変動という名のもとに異常気象・温暖化による穀倉地帯のダメージ・海水温の変化に伴う魚介類の生息範囲の変化。我が国では少子高齢化・混沌とした世の中で差し迫る食料危機を考えると、持続可能、且つ安全な農・水産業の継続は私たちの喫緊の課題だと思います。後継者不足は、耕作放棄地を年々増やし、生産量の確保もおぼつかなく、他国からの輸入に頼り、間違った生産物に依り、健康被害が問題化される現状です。先進国を標榜して農耕民族の原点を疎かにしてしまいました。発達したAI技術を駆使し農業分野での先進国を再構築し、農業立国日本を標榜すべきと思慮するものです。分野分野での考えはありますが、福島県は古来より果物大国、米の生産で日本の農業を支え、従来農業県として国内に知れ渡って来ました。後継産業の波に浸われ農業離れが加速し今になり後継者不足を憂う現状です。決して遅くはないので、先人の営農を福島に蘇す何かを模索したいものです。福島県には、かねてから備わった研究施設、先人たちのノウハウ集積が多々あるはずです。先の大震災・水害にも打ち勝って継続しなければならない農業後継者に寄り添うことは言うに及ばず、表題の継続的営農への啓蒙を官民一体となり、考えなければならないと思っています。◎廃タイヤ燃焼による暖房施設の研究を福島高等工業専門学校と共同研究開発～NEDOの「再生可能エネルギー開発」に採択される(平成29年度)◎農業の複合施設(平成31年特許取得)◎有用植物「ステビア」をベースにした堆肥の製造・販売を県知事から許可を得る。		
		78	男			30a	ステビア(肥料製造)	非該当			
		サービス業		平成10年	—					無	
応募	11	タイラコ マサユキ 平子 正之		昭和57年 令和5年5月	遠野町農業協同組合就職 定年退職 消防団、遠野町青年会会長、JA福島さくら遠野支店地域営農推進員	兼業	30日間程度	遠野・田人	東京農業大学農学部農業経済学科を卒業後、地元の遠野町農業協同組合の職員として7年間努める。その後、地元の商社系企業へ転職し、兼業農家として就農。地域の土地利用に興味を持つが、父から受けた農地を荒らさないための耕作で精一杯の機関が長く、退職を期にこれからの農業を考えてみました。農協在職中、高齢化農業及び農機具貧乏の傾向が見られる地元農業をどのように改革するかを考え、乾燥組合の設立を計画し、大規模農業の推進を模索していました。当時、青年会・農協農青連事務局・地区消防団にて活動を行っていました。離農、農地の荒廃が益々進むなか、農地利用の最適化を推進し、若者の就農及び定年後の活躍の場の構築、山・川・田園・畑地の素晴らしい景観を残すために、積極的に農地利用の最適化に努めたいと思っています。		
		65	男			60a	米	非該当			
		農業		平成3年	—					無	
応募	12	サカイ クニオ 酒井 邦夫		平成22年3月 平成24年2月 平成28年3月 平成28年4月 平成29年4月 令和2年2月 令和3年7月	福島県職員(土木部)定年退職 千軒平溜池土地改良区理事就任(4年2期) JAいわき市総代就任 狐塚地区農地中間管理事業役員就任 狐塚地区区長就任 大浦地区長会副会長就任 狐塚地区資源保全会会長就任 小川江筋土地改良区総代就任 第17期農地利用最適化推進委員就任	自家消費	280日間程度	四倉・久之浜・大久	県職員として長く行政に携わり、退職後も区長をはじめ地域の活動に積極的に関わり、農業関係者や地域住民等と幅広く交流し活動しております。現在、狐塚地区の中間管理事業に携わっており、農業者の高齢化や後継者不足、遊休農地の増加等が農業の課題として感じております。今後は、地域農業の課題解決のため、中間管理事業の推進に寄与する活動(ほ場整備の事業化等)に積極的に取り組んで行きたいです。また、第17期推進委員の活動を通じて得た経験を、今後の地域農業の発展に役立てて行きたいと思っています。		
		74	男			80a	米	非該当			
		農業		平成22年	第17期農地利用最適化推進委員					無	
応募	13	オリカサ タカオ 折笠 孝男		令和2年4月 令和3年7月 令和4年4月	根本地区区長会会長就任 第17期農地利用最適化推進委員就任 遠野町区長会会長就任	専業	200日間程度	遠野・田人	地域の農地の移動、農作業の部分及び全面委託調整や休耕地管理など、農地の維持管理に努めて参りました。中山間地域等直接支払交付金の活用による地域住民との交流を盛んに行い、集落全体の環境整備等の取りまとめ役として活動しております。一年でも長く農地の維持管理ができるよう担い手を活用し、小規模農地のドローンによる防除等を推進し、地域の調整役として活動したいと思っています。		
		73	男			130a	米	非該当			
		農業		令和2年	第17期農地利用最適化推進委員					無	